KYOIKU SHUPPAN

令和3年度

中学校用教科書

編集の趣意と特色

2021

内容解説資料

教育出版

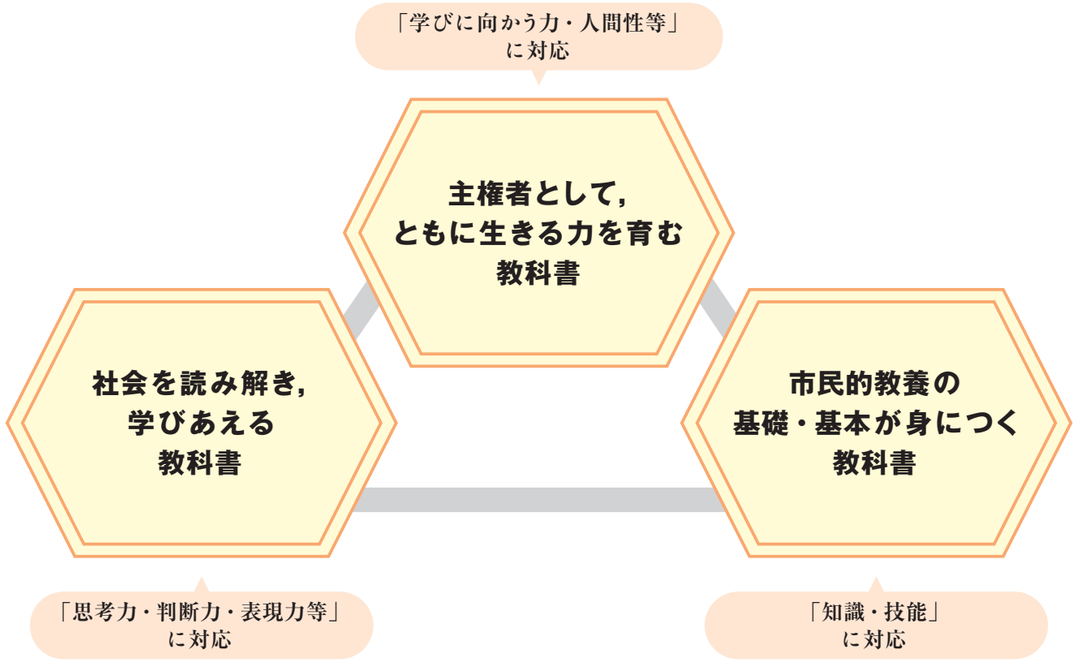
生徒が学ぶ楽しさを実感し，“歴史に学び，未来をひらく”ための教科書

教室で学び合うことを楽しいと思う，社会のことをもっと知りたい・考えたいと思う，こうしたことが生徒にとっての「主体的な学び」の第一歩であり，「深い学び」に至るきっかけなのではないでしょうか。資料の読み解きから生徒どうしの対話が生まれ，学級として主体的に学習を進めていく，この教科書は，教室でのそのような学びの姿をイメージしてつくりました。

歴史の教科書に載っているような人物・社会・できごとは，現在とは異なるという点で，私たちにとっては異文化といえます。一方で，私たちが生きる現在やこれから生徒たちが創造していく未来は，その異文化である歴史の積み重なりの上にあるものです。生徒が自分たちと歴史のつながりを見出し，未来をひらくために歴史を深く学び，その楽しさを大いに実感してほしいと願っています。

社会科で育てたい生徒の姿と，教科書作成の三つの基本方針

【育てたい生徒像】 持続可能な社会を創造する市民の育成



「歴史」教科書では，多様性を認め合い，主権者として社会に参画していくための知識や態度の育成を重視し，多文化共生と持続可能な社会の創造に向けて，主体的に社会と関わり続ける力を養う学びの実現を目ざしました。

◉ 代表者のメッセージ

主体的に歴史を考える

過去から学び，未来に生かすとは，歴史を学習する目的としてよく指摘されることですが，無限に存在する過去の事実から，何を選択し，それをどのような基準で理解すればよいのでしょう。その時のキーワードが「主体性」，つまり「自分のこと」として考えるということです。自らが歴史のなかに生きているのであり，歴史に対して主体的な態度を求められているのです。では歴史とは，一人で自分の好きなように理解すればよいのでしょうか。そこには対話が必要です。自分の理解を他の人に問いかけた時，これまで自身では気づかなかった見方を知るかもしれません。身近な人ばかりでなく，本に書かれていることや，碑文に刻まれたできごとなど，物・資料との対話も含めれば，歴史を考える素材やその視点は，対話によって大きく広がっていき，多様であることを理解できます。

歴史は実験できません。その意味では正解もありません。現在のあり方が，昔からずっと同じだったのでも，突然できたのでもなく，過去の積み重ねのなかで作り上げられたからこそ多様なのだという，歴史的な考え方を身につけること，この教科書は，こうした歴史の学びを助けるためにつくりました。

久留島（くるしま）　典子（のりこ）（東京大学史料編纂所教授）

「中学社会　歴史」の三つの特色

1 ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む内容構成の工夫

章・節などの学習内容のまとまり(単元)ごとや各時間に見通し・振り返りの場面を設け，主体的・対話的で深い学びに取り組みやすく，理解を深められるように工夫しています。また，各種コーナーを充実させ，「歴史的な見方・考え方」を働かせたり，資料を活用したりする学習に取り組みやすくなりました。

2 持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実

人権や平和，環境，災害・防災など現代社会に見られるさまざまな課題や，それにつながる歴史を豊富に取り上げ，自己と社会・歴史とのつながりについて考えを深められるようにしました。また，社会を形成してきた多様な人々の営みを学び，主体的に社会に参画しようとする態度を養えるように構成しました。

3 学びを広げる・つなげる・深めるための紙面・内容の工夫

社会科3分野の学習を通じて，生徒の資質・能力を育むことができるよう，防災やSDGsなどの内容・観点の面ではもちろん，思考・判断・表現する活動のあり方なども地理・公民との連携を図りました。また，歴史学習の進め方や資料活用の技能などについても冒頭で丁寧に解説し，小学校での社会科学習からのスムーズな接続ができるように構成しました。巻頭・巻末などの資料も充実させ，生徒の自ら学びに向かう力を支えます。

目　次

特色1
ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む内容構成の工夫 …… 2
1 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成 … 2
2 学習の流れを見通しやすく，思考・判断・表現する場面を適切に位置づけたページ構成 …… 4
3「見方・考え方」を働かせた学びや資料の活用を支援する学習コーナー …… 6

特色2
持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実 …… 8
1 主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容 …… 8
2 社会的な課題を多面的・多角的に捉え，考察することができる教材・内容 …… 10
3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容 …… 12

特色3
学びを広げる・つなげる・深めるための紙面・内容の工夫 …… 14
1 3分野の学びを関連させ，社会をより深く理解することができる内容・構成 …… 14
2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成 …… 16
3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫 …… 18
授業を支える教師用指導書と周辺教材のご紹介 …… 20
著作者の紹介 …… 裏表紙

特色 1

ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む内容構成の工夫

1 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成

内容のまとまりごとの見通し・振り返りの学習場面をいっそう充実させ，主体的・対話的で深い学びを実現しやすい構成にしました。思考・判断・表現する活動を通じて，より深い理解を促すことができます。

1 章の学習を見通す導入ページ「学習を始めよう」 p.59-61

good

章の学習内容をイメージできるような資料を中心に，導入ページを構成しました。資料の読み解きの活動を通じて，生徒が興味・関心や見通しをもって，章の学習に取り組めるように工夫しました。

1 導入ページ

次の 章へ

4 学習のまとめと表現ページ

4 章の学習を振り返るまとめのページ「学習のまとめと表現」 p.92-95

章全体の学習を振り返り，年表や地図にまとめる作業を通じて，基礎・基本の確実な定着を促します。また，自ら考察し，集団で表現し合う活動を位置づけ，学習した知識や思考の過程を再確認することができるようにしています。

章の 流れ

2 本時ページ

確認 平清盛が権力を握るきっかけとなったできごとを確かめよう。

表現 平氏の政治と，藤原氏の摂関政治を比べて，どのような共通点や違いがあるか説明しよう。

2 学習内容を理解しやすい「本時ページ」 p.64-65

1時間=見開き2ページごとに「学習課題」（学習の見通し）と，「確認／表現」（振り返り）を設け，生徒の主体的な学習や，確実な内容理解を促します。

3 特設ページ

3 視点を変えて捉えなおす「特設ページ」 p.88-89

本時で学習した内容について，視点を変えて捉えなおすことができるテーマを設定しました。生徒が現代社会の諸課題と照らし合わせ，多面的・多角的に考察できるよう工夫しています。

2 学習の流れを見通しやすく，思考・判断・表現する場面を適切に位置づけたページ構成

1時間＝見開き2ページの中に，本文・資料・学習活動をバランスよく位置づけ，より学びやすい紙面にしました。資料を読み解く手がかりを示すなど，生徒が自ら学ぶことができ，確かな学力を獲得できるよう工夫しています。

2 1時間の学習を見通す「タイトル」・「学習課題」・「時代スケール」

・タイトルには，学習内容を象徴するような言葉を用い，生徒が自ら「知りたい・考えたい」と意欲を高められるよう工夫しました。
・学習課題では，この時間の学習で何について追究していくのか，学びの見通しをもてる課題を示しました。
・時代スケールは，この時間で学習する時期を意識することができ，歴史の大きな流れと関連づけることに活用できます。

1 学習のきっかけとなる「導入」

学習内容の中心となる資料を大きく掲載し，生徒の興味・関心を高めます。資料を読み解く視点のヒントをキャラクターの言葉として示し，すべての生徒が意欲的に取り組めるようにするなど，授業で活用しやすい導入部にしました。

国宝

←1 武士の館
〈「一遍上人絵伝」清浄光寺［遊行寺］蔵〉

武士の館は，貴族の屋敷とどこが違うだろう。

世紀▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
縄文 弥生 古墳 飛鳥 奈良 平安 鎌倉 南北朝 室町 戦国 安土桃山 江戸 明治 大正 昭和 平成

4 弓馬の道 ▶鎌倉時代の人々の暮らし

学習課題 鎌倉時代の人々は，どのような暮らしをしていたのでしょうか。

歴史の技 絵巻物を読み解こう

絵巻物は，文章(詞書)と絵が交互につなげられ，物語が展開していくように作られた巻物です。建物の天井や壁をあえて描かないことで，室内の様子が見えるようにしたり，一つの絵の中に同一人物を何度も描くことで，できごとの進行を表したりする表現が特徴的です。絵巻物からは，当時の人々の様子を読み取ることができます。

資料1を読み解いてみましょう。

Q1 貴族の寝殿造(←p.50)と比べて，武士の館らしい特徴を三つあげよう。

Q2 館ではどのような動物が飼われているだろう。また，それはなぜだろう。

2 絵巻物の形(資料1の場面)

武士の暮らし 鎌倉時代には，鎌倉や京都に屋敷をもつ有力な武士が増えましたが，地方の武士は，領地のなかでも交通や水利のよい場所に，堀や塀で囲んだ館を設けて暮らしました[1][2]。武士は領主として，下人や近くの農民を働かせて館の周辺の田畑を耕作し[4]，自らは乗馬や弓矢の武芸[3]にはげんで戦いに備えました。武士の一族は，惣領を中心に血縁によって団結し，領地は惣領でない者にも分割相続されました。武家の女性は，土地を相続することができたため，地頭になり，一族の中心として領地を支配する女性も現れました。しかし，やがて新たな領地を得られなくなると，一族の間で争いが起こることもありました[1]。

地頭の支配 公領や荘園の地頭となった武士は，土地の管理や年貢の取り立てを行いました。有力な武士の中には，いくつもの荘園や公領の地頭となる者も現れました。地頭がおかれた荘園では，地頭になった武士が，土地や農民を支配しようとして，荘園領主とたびたび争いました。こうした争いは幕府の裁判によって決着し，地頭が一定額の年貢の納入をうけ負うことで荘園の支配を任されたり，荘園の半分を地頭に与えたりして，地頭の権利が強くなっていきました。一方で農民は，領主と地頭との二重の支配を受けて苦しみましたが，集団で地頭の勝手な支配を領主に訴えるなどして，暮らしを守ろうとしました[5]。

民衆と農業・商業 鎌倉時代には自然災害などによる飢饉も起こりましたが，農地の開発が進み，農業技術も発達しました。田畑に水を引き入れるかんがいの整備が進み，牛馬や鉄製の農具を使った農耕が広まり，草木を焼いた灰などの肥料も使われ始め，農業生産が高まりました。西日本を中心に，同じ田畑で米を収穫した後に麦を栽培する二毛作も始まりました。

農業の発達とともに，手工業や商業も盛んになりました。農村にも，農具などの鉄製品を造る鍛冶や，布や衣服を作る者が現れました。寺社の門前や水陸の交通の要所には，年貢や商品の輸送や取引を行う問丸が現れ，**定期市**が開かれました。市での売買には宋銭が使われ，やがて年貢も銭で納められるようになりました。また，京都や鎌倉では，銭を貸す高利貸しも現れました。

[1]やがて，あとつぎの者一人に相続させる単独相続が行われるようになり，女性の財産の権利も制限されるようになっていきました。

確認 鎌倉時代に，農業や商業はどのように変化したか確かめよう。

表現 農民と地頭，荘園領主の関係について，図に表して説明しよう。

3 理解しやすい「本文」

平易な表現で，できごとの関係性を捉えやすく，生徒が学習内容を理解しやすい「読んでわかる」文章です。

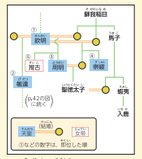
4 理解を深める「資料」

本文と関連する地図・写真・図などの豊富な資料により，学習内容についてイメージを伴ってより深く理解することができます。本文と資料の関連を番号で示し，本文と資料を結びつけて学習を進めることができます。

資料活用を促し，学び合いを支援する「歴史の技」・「読み解こう」

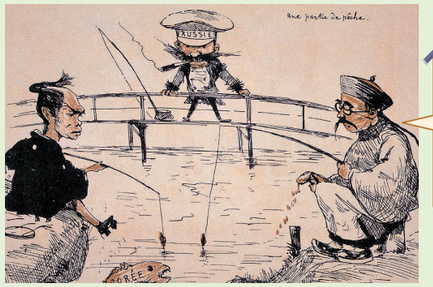
資料を活用しながら学習を深められるように，資料の読み解きを支援するコーナーを設けました。
「歴史の技」では，資料活用の方法や手順を示し，歴史学習で必要な技能の習得を支援します。
「読み解こう」では，資料を読み解く視点を問いの形で示し，生徒が自ら資料を活用する力を育みます。

歴史の技
系図を読み解こう
系図は，一族の代々の系統を表した図です。一般的には上から下に連なって書かれていて，縦のつながりは親子関係を，横のつながりは兄弟姉妹関係を示します。二重線は婚姻関係を示します。
系図からは，歴史上の人々の関係性などを読み取ることができます。
Q1 6の系図から，聖徳太子と蘇我馬子は，どのような関係といえるだろう。



6 蘇我氏と皇室の系図

▲ p.41



1 東アジアの国際関係を描いた風刺画(ビゴー筆)

読み解こう
1の絵では，日本を含む4か国が，人物や魚にたとえられています。
❶魚をつっている左右の人物は，どの国のことだろう。また，魚はどの国を表しているのだろう。
❷橋の上の人物は，どの国のことで，何を考えているのだろう。
❸この絵は，東アジアのどのような国際関係を表しているのか，説明してみよう。

▼ p.188

フランス人のビゴーは，各国をどのように見ていたのだろう。

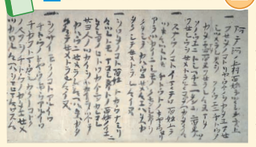
3 武芸の訓練(「男衾三郎絵詞」東京国立博物館蔵)
武士は，馬上から的を射る笠懸や流鏑馬などの訓練にはげみました。

4 田植えの様子(「大山寺縁起絵巻」[模本]東京大学史料編纂所蔵)

歴史の窓 **地頭を訴える農民**

紀伊国(和歌山県)の阿弓河荘は，京都の叡楽寺の荘園でしたが，地頭の湯浅氏が着任すると，農民は地頭の支配も受けるようになりました。地頭は，武力を用いて農民に労役などの負担を強制しようとしました。これに対して農民は，荘園領主の力で地頭の乱暴をやめさせようと，13か条からなる訴状をまとめて領主に訴えました。1275年に出された訴状は，農民自らが主に片仮名を使って書きました。

5 農民の訴状(高野山霊宝館蔵) 国宝



阿弓河荘上村の百姓らがつつしんで申し上げます。…(略)
一，(領主に納める)材木のことですが，地頭が都に行くとか，近所での労役だなどと言っては，人夫として地頭の所でこき使われますので，その余裕がありません。わずかに残った人を，材木を運び出しに山へ行かせたところ，地頭が「逃げた百姓の畑に麦をまけ」といって追い戻してしまいました。「お前たちが麦をまかないと，妻子を閉じ込めて，耳を切り，鼻をそぎ，髪を切って尼にして，縄でしばって痛めつけるぞ」と厳しく責め立てられますので，材木の納入がさらに遅れてしまったのです。…(略)

5 視点を変えて捉えなおす「歴史の窓」

本文とは視点を変えて学習内容を捉えなおすことができます。歴史的事象について，生徒の多面的・多角的な思考や理解を促します。

6 本時の学習をまとめる「確認」と「表現」

学習課題に対応した2段階の問いで，本時の学習を振り返り，基礎・基本の確実な定着を支援します。

確認！
「確認」は，学習を振り返って整理するステップです。

表現！
「表現」は，学習内容を自分の言葉で説明したり，対話したりすることで深い学びへとつなげるステップです。

3 「見方・考え方」を働かせた学びや資料の活用を支援する学習コーナー

視点や方法を意識的に働かせながら学習を進めていくための紙面や，資料活用の技能を身に付けるためのコーナーを設定し，思考や理解を深めながら学習を進めていくことができるようにしました。

歴史にアプローチ ～歴史の見方・考え方と学習の進め方

中学校の歴史学習では，さまざまな資料を読み解き，東アジアなど日本と関わりの深い世界の歴史も学びながら，それぞれの時代の特色をとらえていきます。そして，時代の特色がどのように移り変わったのかに注目することで，日本の歴史の大きな流れを学んでいきます。小学校の学習で身につけた「社会科の見方・考え方」を活用したり，さらに発展させたりして，中学校の歴史学習をより深めていきましょう。

小学校の学習で活用した「社会科の見方・考え方」と「学習の進め方」

時期や変化
鉄砲は，いつ，日本に伝わり，戦に使われるようになったのかな。
都の貴族の服装は，平安時代になると，どのように変わったかな。

場所や広がり
前方後円墳が残っている場所は，どのあたりに集中しているかな。

くふうや関わり
弥生時代の人々は，どんなくふうをして米づくりをしていたのだろう。
平和や環境を守るために，世界の人々はどのような協力をしているのかな。

比べる
大日本帝国憲法と日本国憲法を比べると，どんなちがいがあるかな。

関連づける
江戸時代に新しい文化が生まれたことと，街道などの交通が発達したことには，どのような関係があるのだろう。

総合する
豊臣秀吉が，検地をしたり刀狩をしたりしたことなどをまとめると，どういうことがいえるかな。

歴史は，小学6年生のときに，学習したね。

中学校では，どのように学習を進めていくのかな。

つかむ　1 学習問題をつくろう　2 予想して，学習計画を立てよう　調べる　3 学習問題の解決に向けて調べよう　まとめる　4 学習をまとめよう　次の学習や暮らしにつなげる

↑教育出版『小学社会　6』より

歴史学習での見方・考え方の例

◆時期や推移…・いつ(どの時期)のできごとだろう。
・前の時代から，どのように変化・発展したのだろう。
◆比較…………・AとBを比べると，どのような共通点や違いがあるだろう。
・その共通点や違いから，どのような特色があるといえるだろう。
◆関連…………・できごとが起こった原因や，社会的な背景は何だろう。
・できごとの結果や，社会への影響はどのようなものだったのだろう。
・そのできごとと，ほかのできごととはどのような関係があるだろう。

中学校での歴史学習のポイントについて，もう少し詳しく紹介します。

good

教科書の冒頭に位置づけた「歴史の見方・考え方と学習の進め方」 p.7-9

小学校での学習の進め方や「見方・考え方」を振り返り，中学校の歴史での「見方・考え方」を働かせた学習の進め方につなげるためのページを，教科書の冒頭に設定しました。小学校社会科からのスムーズな接続を図るとともに，生徒が「見方・考え方」を意識的に使いこなせるようになるための「道具」として，活用していただけるページです。

歴史学習での見方・考え方の例

◆時期や推移…・いつ(どの時期)のできごとだろう。
・前の時代から，どのように変化・発展したのだろう。
◆比較…………・AとBを比べると，どのような共通点や違いがあるだろう。
・その共通点や違いから，どのような特色があるといえるだろう。
◆関連…………・できごとが起こった原因や，社会的な背景は何だろう。
・できごとの結果や，社会への影響はどのようなものだったのだろう。
・そのできごとと，ほかのできごととはどのような関係があるだろう。

歴史の見方・考え方を自分たちの学習に役立てよう

中学校の歴史学習では，歴史的なできごとや人物の活躍，社会や文化の変化について，原因や背景，結果やその影響など，歴史の流れの中に位置づけながら考えていきます。ここでは，歴史学習を進める際のポイントや資料の活用のしかたを紹介します。p.7に示した「歴史学習での見方・考え方の例」も確認しながら見てみましょう。

ポイント2・3は，まとめて「因果関係」と言い表すこともできますね。

ポイント1 できごとの5W1Hを確かめよう
5W1Hは，When(いつ)・Where(どこで)・Who(だれが)・What(何を)・Why(なぜ)・How(どのように)のことです。これらを確かめることで，できごとのあらましをとらえることができます。

ポイント2 できごとの原因や背景を確かめよう
歴史上のできごとは，なぜ，どのようにして起こったのか，調べてみましょう。原因は，一つだけではないかもしれません。また，背景について考えるときには，日本の政治・社会・文化などのほかに，世界の歴史の動きも意識することが大切です。

ポイント3 できごとの結果や影響を確かめよう
歴史上のできごとは，どのような結果になったのか，調べてみましょう。また，その影響については，政治を行う人・民衆・諸外国などそれぞれの立場の人々にとってはどのような意義があったのかなど，さまざまな角度から疑問をもって調べることが大切です。

ポイント4 時代の特色をとらえよう
その時代のできごとや，政治・社会・文化の動きなどを総合して，時代の特色を考えましょう。各章末の「学習のまとめと表現」のページを活用すると，時代を大きくとらえることができます。

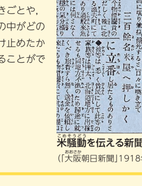
ポイント5 時代の転換をとらえよう
ある時代と，その前後の時代を比べて，歴史の推移や転換を考えましょう。各章末と各章の扉の「時代の変化に注目しよう」を活用すると，資料の比較から時代の転換をとらえることができます。

歴史の技　絵や写真を読み解こう
絵や写真からは，当時の社会の様子を読み取ることができます。何の，どのような場面が描かれて(写されて)いるか，現代との共通点や違いにも注目して見てみましょう。

大正時代の生糸の生産

室町時代のころの田植えの様子〈『月次風俗図屏風』東京国立博物館蔵〉

歴史の技　新聞を読み解こう
新聞は，明治時代以降に表れたメディアで，日付が特定できることも特徴です。当時のできごとや，それを世の中がどのように受け止めたかを読み取ることができます。



米騒動を伝える新聞
(「大阪朝日新聞」1918年8月5日)

歴史の流れを考えたり，考えたことを班や学級で共有してさらに考えを深めたりすることで，歴史のさまざまな面が見えるようになってきます。ここでは，そうした学習を進める際に役に立つ，図・表などを使って思考を整理する方法を紹介します。

歴史の技　図や表に整理して考えよう

❶年表で表す
◆時期や順序を明確に示すことができます。
重要だと考えるできごとにしぼって記入します。

年	主なできごと(*は世界のできごと)
15世紀末	*ヨーロッパ諸国が世界進出を始める
1543	*ポルトガル人が日本に鉄砲を伝える
1549	*ザビエルが日本にキリスト教を伝える
1573	織田信長が室町幕府をほろぼす
1590	豊臣秀吉が全国を統一する
1603	徳川家康が征夷大将軍になる
…	…

近世初期の主なできごと

❷矢印と囲みで，図に表す
◆因果関係や世界史との関連をわかりやすく示すことができます。
できごとの流れを矢印で結び，そのできごとの背景を線で結びます。

戦国大名の領国支配 → 信長・秀吉の統一事業／徳川家康の全国支配 → 江戸幕府の大名統制(幕藩体制)
勢力争いや戦乱／大きな戦乱のない社会へ／室町幕府の権力の低下／ヨーロッパ人の来航・鉄砲の伝来，南蛮貿易

戦国大名の支配から江戸幕府の支配への変化

❸表に整理する
◆できごとをさまざまな面から理解したり，項目ごとに比べたりすることができます。
項目を決め，それぞれの欄に内容を記入します。右の表のように，5W1H(だれが，何を，いつ，どこで，なぜ，どのように)などを整理することもできます。

	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康
拠点とした城	安土城	大阪城	江戸城
おもな政策	武力で，仏教勢力をおさえた。楽市・楽座で，商工業を盛んにした。	村ごとに検地を行った。刀狩を行い，武士と百姓を区別した。	征夷大将軍になり，江戸幕府を開いた。武家諸法度を定めて，大名を統制した。
外国との関係	キリスト教を保護した。	朝鮮に2度にわたって軍を送った。	朝鮮との交流を再開した。

できごと	
When(いつ)	Where(どこで)
Who(だれが)	What(何を)
Why(なぜ)	How(どのように)

3 古代文明がおこった地域

歴史の技　地図を活用しよう
地図からは，位置や広がり，地形などの地理的条件との関係性などを読み取ることができます。
Q1 文明がおこった地域に共通する地形の特色は，なんだろう。
Q2 それは，文明のおこりとどのように関わっているだろう。

▲ p.22-23

歴史の技　狂歌を読み取ろう
民衆は，滑稽や政治批判を取り入れた短歌(狂歌)をよみました。この狂歌からは，当時の政治を人々がどのように見ていたかを読み取ることができます。
Q1 一と二の狂歌は，それぞれ田沼と松平のどちらの時代のことをよんだものだろう。
Q2 三の狂歌は，どのようなことを風刺しているだろう。狂歌の意味を自分なりの言葉で説明しよう。

一 浅間しや富士より高き米相場　火のふる江戸に砂の降るとは
〈解説〉「あさまし」はひどいという意味と浅間山の噴火をかけています。飢饉により米価が高騰し，江戸での生活が火の車であることをよんでいます。

二 世の中に蚊ほどうるさきものはなし　ぶんぶといふて夜もねられず
〈解説〉旗本や御家人に文武(学問と武芸)を奨励したことを，蚊の羽音にたとえて批判しています。

三 白河の清きに魚のすみかねて　もとの濁りの田沼恋しき

▲ p.135

歴史学習で必要な技能の習得を支援する「歴史の技」

絵や写真，新聞，地図や系図など，歴史学習の中で活用する機会の多い資料について，資料活用の方法や手順を示しています。教科書中７か所に設けています。

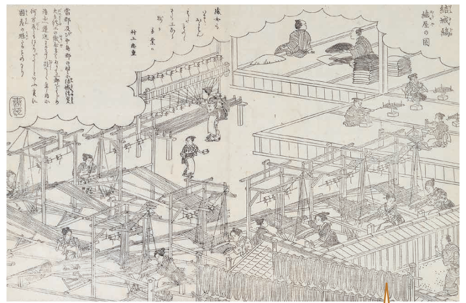
生徒が自ら資料を活用する力を育む「読み解こう」

資料を読み解く視点を問いの形で示すコーナーを，教科書中17か所に設けています。読み解きのガイドとして活用することができます。

読み解こう
資料1と5は，どちらも『蒙古襲来絵詞』の一場面です。p.68の「歴史の技」も参考にして，絵巻物の読み解きに挑戦してみましょう。
❶元軍と御家人の武器や戦い方には，どのような違いがあるだろう。
❷季長が戦いに参加したのは，なぜだろう。
❸季長がわざわざ鎌倉まで出かけたのは，なぜだろう。
❹季長がこれらの場面の絵を描かせたのは，なぜだろう。

5 幕府の役人に訴える御家人
〈『蒙古襲来絵詞』宮内庁三の丸尚蔵館蔵〉
季長が鎌倉を訪れ，恩賞を担当する安達泰盛に面会している場面です。

▲ p.75


5 工場制手工業による綿織物業〈『尾張名所図会』国立国会図書館蔵〉

読み解こう
❶5の絵で，働く人たちは，それぞれどのような作業をしているだろう。
❷132ページの「木綿の機織をする農家」と比べて，生産方法にどのような違いがあるだろう。
❸それぞれの生産方法の利点を説明してみよう。

▲ p.137

特色 2

持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実

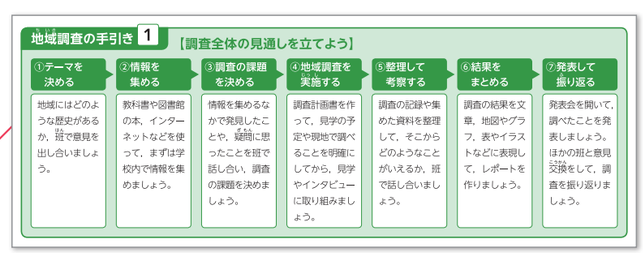
1 主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容

持続可能な社会の実現に関わる社会の諸課題の扱いを充実させ，生徒がそれらの課題を，歴史の流れをふまえて考察することができるように工夫しました。また，地域社会と関わりながら学習できるページを充実させました。

自己と歴史との関係について考えを深められる資料ページ 巻頭1・2

good

生徒が自分たちと歴史のつながりを意識できる「私たちにつながる歴史」(巻頭1・2)や，歴史の大きな流れを見開きで一覧することができる「歴史年表」(巻末2・3)，歴史の中で人々がどのように世界を捉えてきたのかを考えることができる「世界地図の歴史」(巻末4)などの資料ページを充実させました。



自ら地域と関わる力を育む「身近な地域の歴史を調べよう」 p.10-16

身近な地域の歴史を調べる学習活動については，生徒が主体的に調査計画を立て，地域社会と関わりながら学びを展開できるよう，学習の進め方を示す「地域調査の手引き」や生徒が活動する様子の写真を充実させました。

▲ p.178-179

具体的なエピソードなどから，本時ページでの学習をさらに深める特設ページ。

▲ p.182-183

政治や人権の歴史を捉えやすい紙面

生徒が，現在の政治や人権について，歴史の流れに位置づけながら思考・理解を深めることができるよう，政治や人権の来歴を取り扱うページを充実させました。本時ページでは，各時代の政治や人権の動きを学習しやすい構成を工夫しました。特設ページでは，女性や民衆など，政治・社会に参画した人々の姿を取り上げました。

社会と関わる人々の様子を多数掲載した現代史 p.276-283

災害時における共助・公助の場面や，国際支援の様子など，現代に生きる人々の多様な社会との関わりについて，扱いを充実させました。

2 地元の子どもたちに日本語を教える青年海外協力隊員(セネガル)

6 被災地で救援活動を行う自衛隊員や他県から駆けつけた警察職員(2016年 熊本県益城町)

7 紛争地域で手当てをする国境なき医師団

5 被災者に炊き出しを行うボランティアの人たち(1995年 兵庫県神戸市)

特色 2

持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実

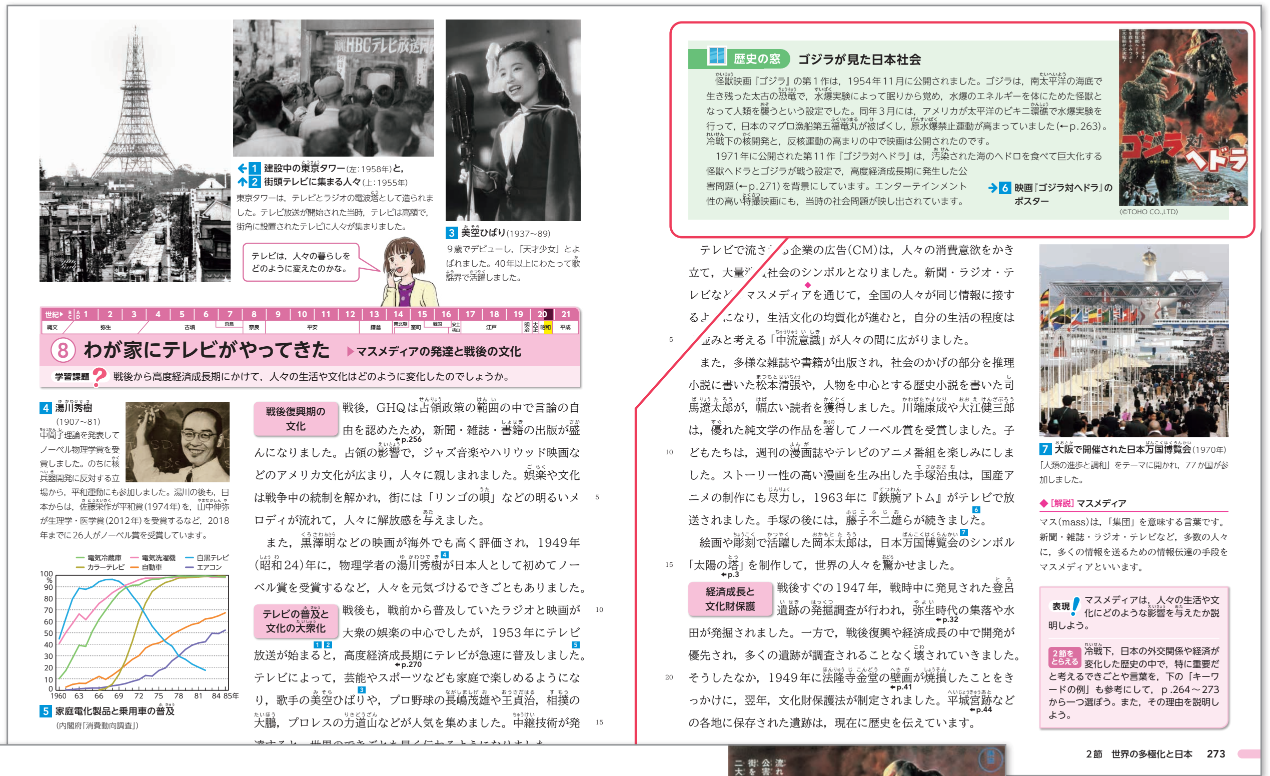
2 社会的な課題を多面的・多角的に捉え，考察することができる教材・内容

コラム「歴史の窓」や特設ページを充実させ，本文とは異なる視点から歴史を捉えなおすことができるように工夫しました。資料を活用しながら多面的・多角的に考察し，根拠をもって判断し，豊かに表現する力を育みます。

▲ p.64-65

学習内容の背景や影響を考えることができる「歴史の窓」

本文で学習した内容について，その歴史的事象の背景や影響を扱うコラムです。全体で 19 テーマを設けています。たとえばp.64～65では，本文で平氏政権を取り上げていますが，「歴史の窓」では，日宋貿易の相手国である宋の科学技術や文化などについて扱っています。またp.273の「歴史の窓」では，冷戦下の核開発や高度経済成長期の公害問題などと，特撮映画とのつながりを取り上げ，社会的なできごとが文化にも影響を与えていることに気づける内容になっています。



▲ p.272-273

歴史の窓　ゴジラが見た日本社会

怪獣映画『ゴジラ』の第１作は，1954年11月に公開されました。ゴジラは，南太平洋の海底で生き残った太古の恐竜で，水爆実験によって眠りから覚め，水爆のエネルギーを体にためた怪獣となって人類を襲うという設定でした。同年３月には，アメリカが太平洋のビキニ環礁で水爆実験を行って，日本のマグロ漁船第五福竜丸が被ばくし，原水爆禁止運動が高まっていました(←p.263)。冷戦下の核開発と，反核運動の高まりの中で映画は公開されたのです。

1971年に公開された第11作『ゴジラ対ヘドラ』は，汚染された海のヘドロを食べて巨大化する怪獣ヘドラとゴジラが戦う設定で，高度経済成長期に発生した公害問題(←p.271)を背景にしています。エンターテインメント性の高い特撮映画にも，当時の社会問題が映し出されています。

→6 映画『ゴジラ対ヘドラ』のポスター

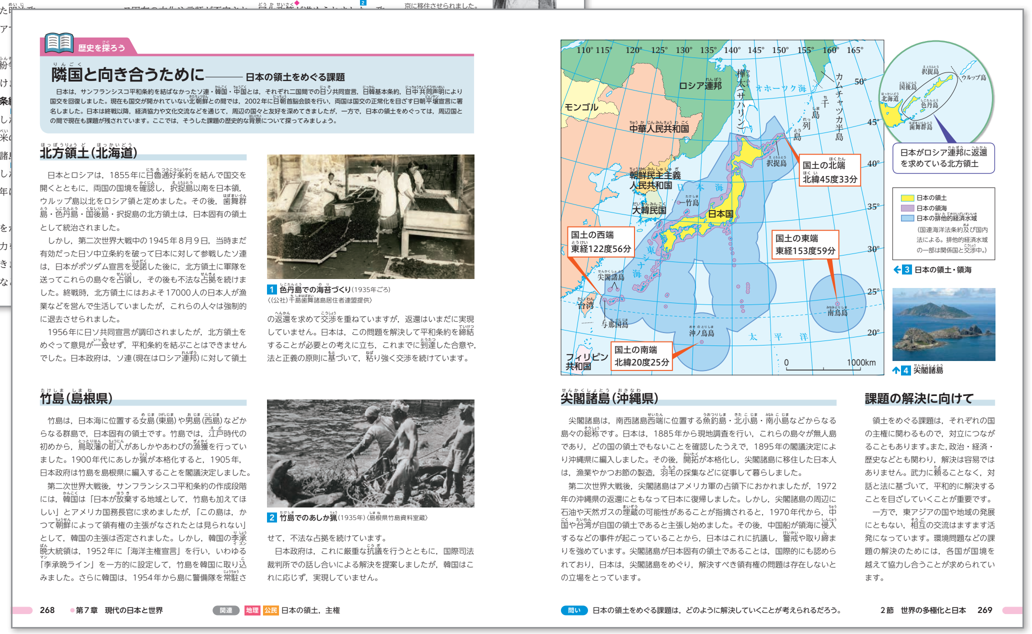
〈©TOHO CO.,LTD〉

◀ p.248-249

視点を変えて，学習内容を捉えなおす特設ページ

歴史の動きについて，本時ページには登場しない人物の視点や，後の時代への影響やつながりなどの視点から，生徒が捉えなおすことができるページです。全体で20テーマを設けています。たとえばp.248～249では，第二次世界大戦の記録や記憶を継承する人々の取り組みを取り上げ，生徒が現代の私たちと過去の戦争とのつながりに気づけます。またp.268～269では，現代の日本の領域をめぐる課題について，明治期の領土の画定(p.176～177)と結び付けながら学習することができます。

◀ p.176-177



p.268-269 ▶

持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実

3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容

我が国の多様な伝統・文化や，身近な地域の歴史を調べる活動の事例を，第１章のほか各章で紹介することで，我が国や郷土の伝統・文化を理解し，尊重しようとする態度を養えるように工夫しました。

身近な地域の歴史を調べ，自分たちと歴史のつながりを意識できるページの充実

good

身近な地域の歴史を調べる学習活動に資するページを各章に設けました。第1章では調査活動の手法などを中心に，第2～7章では各時代の学習内容と関連する地域の伝統・文化や人物などを中心に展開しています。生徒が，社会に開かれた学びのなかで，郷土の豊かな伝統・文化を知るとともに，自分たちの地域や歴史との関わりを意識して学習できるように工夫しました。

地域の商店街や博物館での調査に取り組む様子を掲載しています。(p.10～16)

地域の遺跡や遺物などの文化財から学ぶ様子を掲載しています。(p.36～37)

多様な伝統・文化や，それを創り・伝える人たちの営みについて考えることができる内容の充実

日本の多様な伝統・文化について，どのような歴史的背景の中で形づくられてきたのか，どのように守り・伝えられてきたのか，生徒が深く理解できるよう，文化の取り扱いを充実させました。

日本の多様な伝統・文化の例として，沖縄(琉球)と北海道(アイヌ民族)の文化と，それを継承した人々の営みを掲載しました。(p.184～185)

室町時代の文化を扱うページでは，現代の文化へのつながりや，庭園造りに携わった人々の活躍についても学べます。(p.86～87)

特色 3

学びを広げる・つなげる・深める ための紙面・内容の工夫

1 3分野の学びを関連させ，社会をより深く理解することができる内容・構成

社会科学習のゴールである公民を見据え，現代社会につながる歴史的事象や課題の扱いを充実させました。カリキュラム・マネジメントの観点から，教科「社会科」として生徒の資質・能力の育成に取り組めるよう工夫しました。

SDGsでつながる3分野の学び

good

社会科の目標である，公民的資質の育成を見据えて，地理・歴史・公民の3分野でSDGs(持続可能な開発目標)の視点を取り上げました。歴史学習の最後に位置づけた，現在と未来について考察・構想し表現する活動において，SDGsの17の目標を示すことで，歴史で学んだことを現代の視点から捉えなおして学習を深めるとともに，公民の学習へと接続していけるよう工夫しました。ここでは現代社会の課題の例として，自然災害の記録の継承や，地域の復興に取り組む人たちを取り上げました。

▲ 歴史 p.289-291

▲ 歴史 p.291-293

地理 p.Ⅳ ▶

▲ 公民 p.227-234

歴史的な視点で，過去の長期間における人口の変化を扱い，その中で，明治時代の移民政策を取り上げています。

▲ 歴史 p.202-203

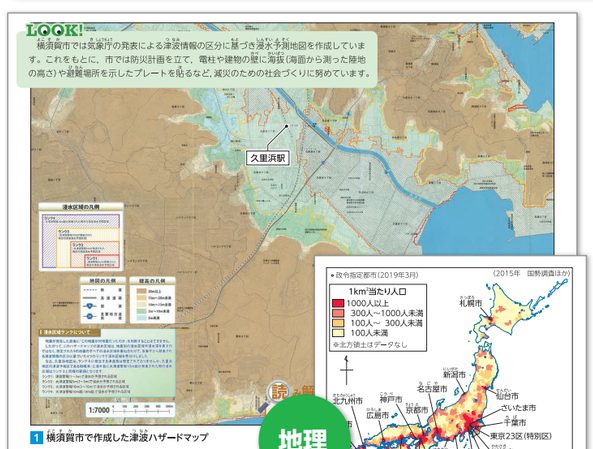
関東大震災による被害や，そこからの復興を扱い，その中で，行政の役割や，人物の働きを取り上げています。

▲ 歴史 p.238

◀ 歴史 p.280-281

現代社会の課題でつながる3分野の学び

公民としての資質・能力の育成の観点から，現代社会の諸課題についての取り扱いを充実させました。たとえば歴史のp.202～203では明治時代の移民政策から「人口・移民」を，p.238では関東大震災から「震災・復興」を取り上げ，現代史(p.276～283)の学習へとつなげています。これらの内容について，「地理」では世界や日本の人口分布の偏りや，地震のメカニズムや発生地の分布を取り上げ，「公民」では人口減少や少子高齢化の問題や，自然災害と資源・エネルギーとの関わりを取り上げています。「地理」・「公民」での学びと合わせて，生徒が，自分たちが生きる社会について多面的・多角的に考察し，深く理解することができます。



▲ 地理 p.160, 164

▲ 公民 p.174, 218

2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成

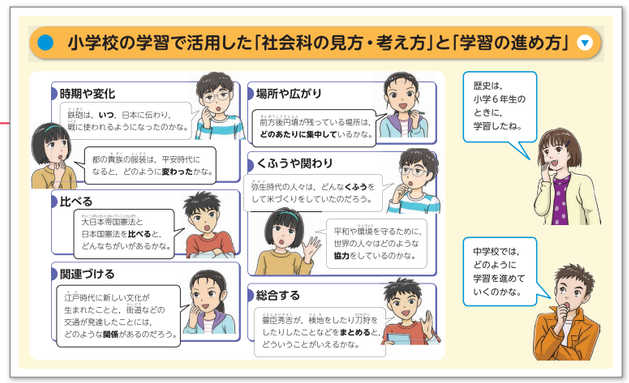
小学校での人物や文化財中心の学習からスムーズに接続できるように，歴史学習の導入部である第1章をより親しみやすい内容にしました。また，高校での近現代史中心の「歴史総合」にむけて，通史学習の充実を図りました。

小学校での学習からのスムーズな接続を意識した「歴史すごろく」と「歴史にアプローチ」

「歴史すごろく」(p.2～3)では，小学校での人物や文化財を中心とした学習を振り返りながら，それらを歴史の大きな流れの中に位置づける活動を設定しました。遊びの要素を取り入れた，生徒が楽しみながら歴史学習を進めていくきっかけとなる導入です。

「歴史にアプローチ」(p.7～9)は，小学校での社会科学習の進め方や，そこで活用した社会的な見方・考え方を振り返り，さらに中学校での歴史学習の進め方や，見方・考え方，資料活用の方法などを見通せる内容です。

▲ p.2-3



▲ p.7

◀ p.60-61

生徒が取り組みやすい導入ページ

各章の冒頭には，生徒が資料から学習する時代をイメージすることができる「扉」ページと「学習を始めよう」を設けました。生徒が主体的に資料活用に臨めるよう，資料は大きく掲載しています。特に通史学習の初めにあたる古代の導入(p.17～19)では，教育出版の小学校社会科教科書『小学社会 6』に掲載している資料を使用しています。

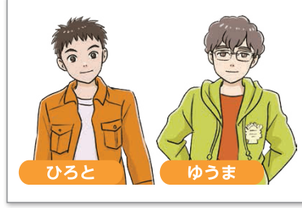
小学校での学習を想起できるアイコン

小学校での学習で登場した人物には「巻物マーク」をつけて，生徒が小学校での学習を振り返るきっかけになるように工夫しました。

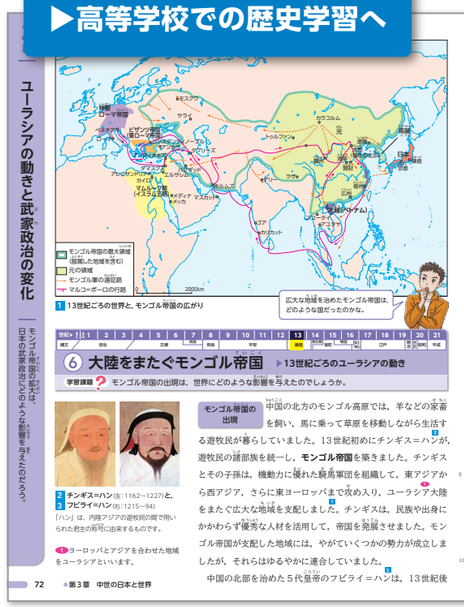
▲ p.46, 108

『小学社会』と同じキャラクター

教育出版の小学校社会科教科書『小学社会』に登場する児童キャラクターが，中学生に成長した姿で登場し，学びの連続性や親しみを感じることができます。



▶高等学校での歴史学習へ



◀ p.72-73

高校「歴史総合」へのつながりを意識した内容構成

高等学校では，近現代の日本と世界の歴史を学ぶ「歴史総合」が必修科目となりました。教育出版の『中学社会 歴史』では，古代から現代までの通史学習の中で，日本の歴史の大きな流れと，その背景となる世界の歴史を丁寧に描いています。日本と世界との関係を捉えながら学び進める歴史学習は，高校での学びにもつながります。

3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫

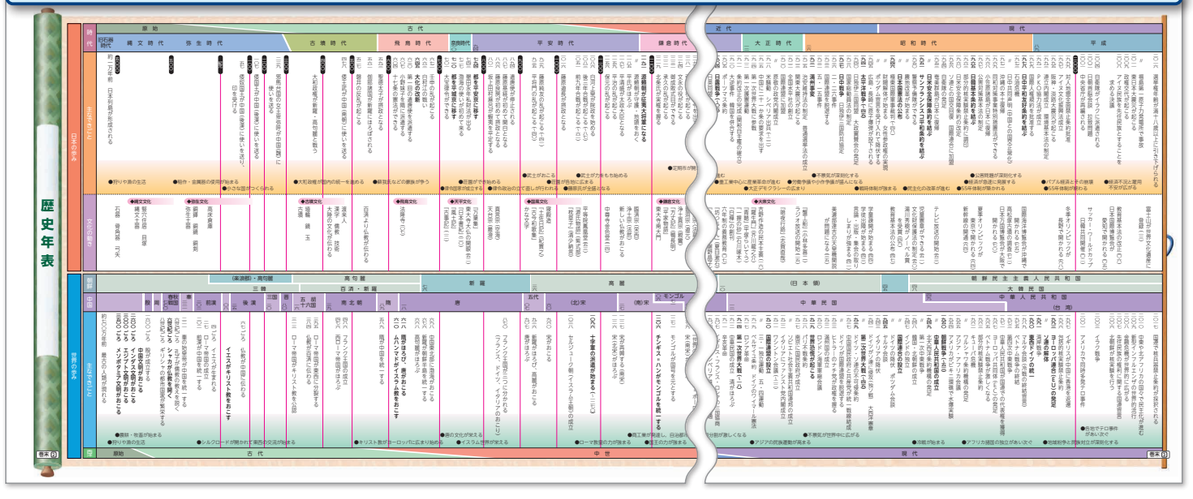
協働的な学習や自学自習をする際に活用しやすいよう，学び方や調査の進め方を解説するページ，資料ページを充実させました。また，ユニバーサルデザインを取り入れ，すべての生徒が学びやすい教科書を目ざしました。

身近な地域を調べる学習の進め方を示したページ　p.10-16

歴史学習の進め方を振り返って確認できるページを充実させ，生徒の自ら学びに向かう力を支援できるような教科書を目ざしました。ほかに「教科書の使い方」(p.Ⅱ)，「時代の分け方・年表の見方」(p.4～5)，「歴史の見方・考え方と学習の進め方」(p.7～9)などのページを設けています。

内容の確認や自学自習で活用できる資料ページ　巻末2・3

歴史の大きな流れを見開きで一覧することができる「歴史年表」（巻末2・3）では，できごとの起こった時期を確認するとともに，現代との時間的な距離感を捉えやすいように工夫しています。また，現在の県境とは異なる時代の日本の地域区分や，産業・交通を確認できる「昔の国と，都道府県の対象図」「江戸時代の産業と交通」（巻末1）を設けています。



インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」　p.59

good

各章の「扉」ページに，「まなびリンク」を設けました。弊社の専用ウェブサイトから，学習に役立つさまざまな情報にアクセスすることができます。現在は，各章の学習の中で，調べ学習を広げたり深めたりすることができる外部ウェブサイトへのリンクを掲載しています。

※無料で利用できますが，通信料がかかります。また，端末の操作やインターネットの利用のルール，情報リテラシーについては適宜ご指導ください。

特別支援やユニバーサルデザインの視点を大切にした教科書づくり

教育のユニバーサルデザインの実現にむけ，埼玉大学の名越斉子（なごしなおこ）先生に社会科全体を監修していただきました。より多くの生徒が学びやすいように，レイアウトや配色，書体などの表現を工夫しています。

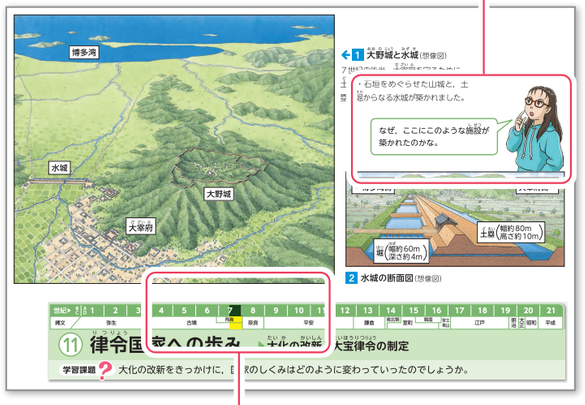
'19 CUD

図やグラフなど，教科書中の表現には，色覚の個人差を問わず，より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

UD FONT

本文や注など，教科書中の文章には，見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

例えば，吹き出し中の読みやすい改行の工夫。



例えば，強調される場所がわかりやすい配色の工夫。

授業を支える教師用指導書と周辺教材のご紹介

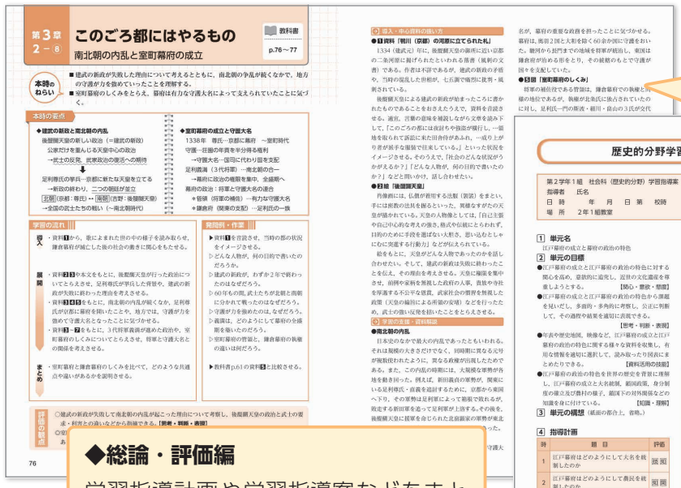
◆教師用指導書◆

※セット内容：総論・評価編（CD-ROM付），学習指導編。

★授業の流れがイメージでき，必要かつ十分なポイントをまとめた指導用マニュアルです。
★指導と評価の一体化を目ざし，学習のねらいと指導の展開，評価の関連性を強化・拡充しました。
★これまでの授業実践の成果を取り入れて，先生方と生徒のコミュニケーションの活性化が図られるよう工夫しました。

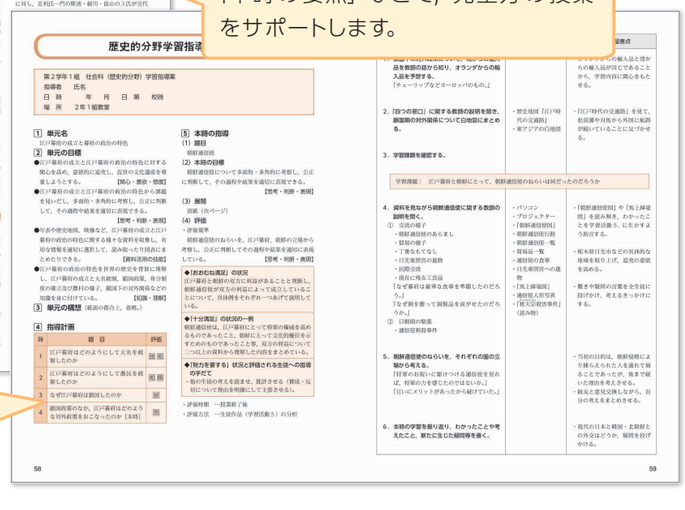
CD-ROM

① 年間学習指導計画・評価計画：ワード，エクセル，一太郎のファイルを収録しています。
② 学力向上のための単元テスト：基礎・基本的な問題から，発展的な問題までさまざまな観点に配慮した問題群で構成されています。一太郎・ワードで作成され，リライトなどにも対応します。
③ その他：白地図データ，教科書掲載図版モノクロデータなど，授業に役立つ資料が満載です。



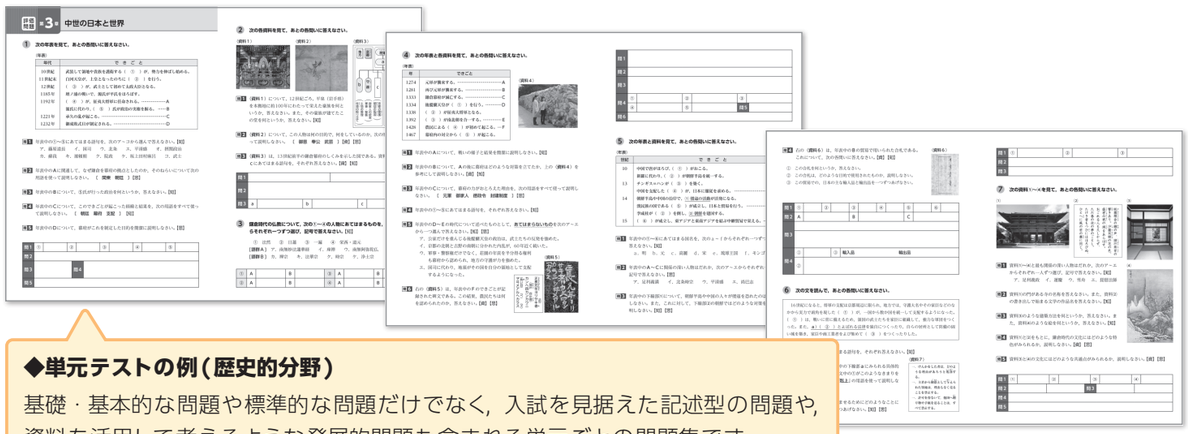
◆学習・指導編

「本時のねらい」や，板書をイメージした「本時の要点」などで，先生方の授業をサポートします。



◆総論・評価編

学習指導計画や学習指導案などをまとめた「総論編」と，指導と評価の一体化を念頭においた「評価編」からなります。



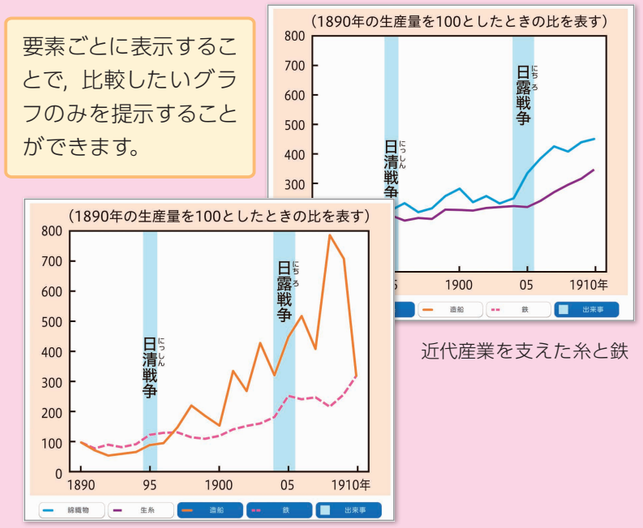
◆単元テストの例（歴史的分野）

基礎・基本的な問題や標準的な問題だけでなく，入試を見据えた記述型の問題や，資料を活用して考えるような発展的問題も含まれる単元ごとの問題集です。

◆指導者用デジタル教科書（教材）◆

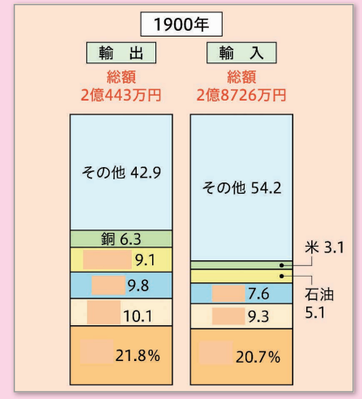
＊使いやすく効果的なコンテンツを多数収録。
★教科書資料を補足する，資料性の高い動画。
★複数の教材を並べて表示でき，比較や関連づけなどに最適。
★グラフは，折れ線・棒などを要素ごとに表示することが可能。
★地図は，凡例ごとに表示することが可能。

要素ごとに表示することで，比較したいグラフのみを提示することができます。



近代産業を支えた糸と鉄

注目すべきポイントにめくり紙があることで，生徒の思考を促します。



◆学習者用デジタル教科書◆

＊拡大表示機能，書き込みなどの機能に加え，学習者支援機能も充実。
★拡大，ページ送り戻り，ペン/消しゴム
★学習者支援機能
自動音声読み上げ　総ルビ（ふりがな）　分かち書き
リフロー（たて書き/よこ書き変更，書体変更，文字サイズ変更，色変更，行間変更）

ビューアは指導者用と共通

◆ 拡大教科書 ◆ 教科書の文字を拡大し，写真や資料の配置を再レイアウトしています。
◆ 教育出版ウェブサイト ◆ 授業に役立つ最新の資料などが容易に入手できます。
◆ 中学社会通信「Socio Express」◆ 毎年春と秋に発行する，弊社と学校を結ぶ小冊子です。

※このページで，ご紹介した商品の内容は変更になる場合がございます。

久留島典子	東京大学史料編纂所教授
遠藤　基郎	東京大学史料編纂所教授
大隅　清陽	山梨大学教授
大谷　正敏	前静岡県浜松市立曳馬中学校校長
加藤　好一	前琉球大学教授
釜田　　聡	上越教育大学教授
後藤賢次郎	山梨大学大学院准教授
佐藤　宏之	鹿児島大学准教授
椎名　和宏	千葉県千葉市立打瀬中学校教諭
重松　克也	横浜国立大学教授
月脚　達彦	東京大学大学院教授
土屋　直人	岩手大学准教授
歳納　隼人	東京都品川区立荏原第一中学校主任教諭
長尾　彰夫	前大阪教育大学学長
中野　　聡	一橋大学大学院教授
西川　杉子	東京大学大学院准教授
西山　暁義	共立女子大学教授
扶川　　聡	東京都江戸川区立葛西第三中学校教諭
藤本　将人	宮崎大学准教授
堀　　新	共立女子大学教授
前島　和樹	前神奈川県川崎市立東橘中学校校長
宮薗　　衛	新潟大学教授
村井　良太	駒澤大学教授
藪田　　貫	兵庫県立歴史博物館館長
山口　輝臣	東京大学大学院准教授
吉田　英文	元富山県立南砺福光高等学校教諭

教育出版株式会社編集局

特別支援教育監修	名越　斉子	埼玉大学教授
SDGsとESDに関する校閲	手島　利夫	前東京都江東区立八名川小学校校長

教育出版（17教出）
中学社会　歴史
教科書番号

歴史
706

地理
702

公民
902

新しい教科書の
特設サイトは
こちらから！

教育出版ホームページからも
アクセスできます。

本社・支社・営業所

本　　社	〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館	TEL. 03-5579-6278	FAX. 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北３条西 3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F	TEL. 011-231-3445	FAX. 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL. 0138-51-0886	FAX. 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL. 022-227-0391	FAX. 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL. 052-262-0821	FAX. 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL. 06-6261-9221	FAX. 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL. 082-249-6033	FAX. 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道３-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL. 089-943-7193	FAX. 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵２-11-30 クレセント東福岡 E 室	TEL. 092-433-5100	FAX. 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城３-8-9 一粒ビル 3F	TEL. 098-859-1411	FAX. 098-859-1411

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

教育出版株式会社　https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/